

調査票 (調査事項のみ収録)

貯蓄と消費に関する世論調査(平成4年)

問1 お宅の家計では、②この1年間に手取り収入(税引き後)の何%(%未満は四捨五入)ぐらいを貯蓄^(注)しましたか。また、①年間手取り収入のうちボーナスや臨時収入(税引き後)からは何%(%未満は四捨五入)ぐらいを貯蓄しましたか(営業や農・林・漁業のための貯蓄や、給与振込、口座振替など一時的にしか口座にとどまらないような預貯金は含めないでお答えください。以下の質問についても同様です)。該当する番号に○印をつけてお答えください。

(注) この調査でいう貯蓄とは金融資産(問3に記載の貯蓄商品)であり、土地・住宅等の実物資産は含みません。

(記入例)

例えば、年間手取り収入100万円のうち
 ・5万円を貯蓄した場合 → %
 ・12万5千円を貯蓄した場合 → %
 とご記入ください。

② %ぐらいを貯蓄した。
 ① 年間手取り収入から貯蓄を全くしなかった。

① ボーナスや臨時収入の %ぐらいを貯蓄した。
 ② ボーナスや臨時収入から貯蓄を全くしなかった。
 ③ ボーナスや臨時収入がなかった。

問2 お宅の家計の現在の貯蓄保有状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

1 貯蓄を保有している。 →
 続けて問3の②、③にお答えください。
 2 貯蓄を保有していない。 →
 続けて問3の③にお答えください。

問3 お宅の家計では、④現在の貯蓄商品別残高(手持ち現金を除く)およびその合計額はどのぐらいですか。また、⑤今後1年間に貯蓄を増やしていく場合、どのような貯蓄商品にどのぐらいの割合(貯蓄の年間増加額に占める割合)で貯蓄しますか。それぞれについて下表の④、⑤欄に数値をご記入ください。

貯蓄商品	④現在の貯蓄残高					⑤今後貯蓄を増やしていく場合の商品別構成比	
	億	千万	百万	十万	万円		%
1 預貯金(郵便貯金は除く)							
うち定期性預金(定期預金、定期積金) (小口MMC、CD等)							
うち自由金利定期預金 (300万円以上の 自由金利の定期預金)							
2 郵便貯金							
うち定期性貯金 (定額貯金、定期貯金) (積立貯金、小口MMC)							
うち自由金利定期貯金(ニュー定期)							
3 金銭信託・貸付信託(ビッグを含む)							
4 生命保険・簡易保険(年金を除く) (これまでに払い込んだ保険料の総額。 ただし、掛け捨ての保険は除く。)							
うち一時払養老保険							
5 損害保険 (これまでに払い込んだ保険料の総額。 ただし、掛け捨ての保険は除く。)							
6 個人年金信託・年金保険・簡易保険(年金) (これまでに積み立てた掛け金の総額。 厚生年金、国民年金、公務員共済など 公的年金の掛け金は除く。)							
7 債券(国債、地方債、金融債<ワイドを含む>、社債<転換社債を含む>等) (時価<現在の相場>でお答えください。 ご不明なら額面でお答えください。)							
8 株式(従業員持株制度による株式を含む) (時価<現在の相場>でお答えください。)							
9 投資信託(株式投信、公社債投信、中国 ファンド等) (時価<現在の相場>でお答えください。 ご不明なら額面でお答えください。)							
10 財形貯蓄 (一般財形、年金財形、住宅財形の合計額)							
11 その他金融商品 (国債組合わせ商品、抵当証券、金貯蓄 口座等)							
合計(1～11の総計)	億	千万	百万	十万	万円		100%

問4 お宅では、貯蓄する商品を決める場合に、どのような理由から選びますか。次のうち最も重点を置いているものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 1 利回りがよく得だから。
- 2 将来の値上がり期待できるから。
- 3 元本が保証されているから。
- 4 取扱い金融機関が信用できて安心だから。
- 5 現金に換えやすいから。
- 6 少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから。
- 7 その他

問5 お宅の家計では、②現在の貯蓄残高についてどのような評価をされていますか。また、⑤その評価のもとで今後の貯蓄方針についてどのようにお考えですか。次のうちそれぞれ該当する番号に○印をつけてください。

- 1 十分で⑤
ある。
- ②
- 1 貯蓄残高を増やす。
 - 2 現在の貯蓄残高を維持する。
 - 3 貯蓄残高を減らす。
- 2 不十分⑤
である。
- 1 貯蓄残高を増やす。
 - 2 現在の貯蓄残高を維持する。
 - 3 貯蓄残高を減らす。

問6 お宅の家計の現在の貯蓄残高は1年前と比べて増えましたか、あるいは減りましたか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 非常に増えた。
 - 2 若干増えた。
 - 3 変わらない。
 - 4 若干減った。
 - 5 非常に減った。
- [続けて問7にお答えください。]
- [問9にお進みください。]
- [続けて問8にお答えください。]

問7 問6で、「1非常に増えた」、「2若干増えた」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 勤労所得が増加したから。
- 2 勤労所得から貯蓄する割合を上げたから。
- 3 配当や金利収入があったから。
- 4 土地・住宅等の実物資産の売却による収入があったから。
- 5 相続、退職金等による臨時収入があったから。
- 6 株式、債券価格の上昇によりこれらの評価額が増加したから。
- 7 その他

問8 問6で、「4若干減った」、「5非常に減った」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 手取り収入が減ったので貯蓄を取崩したから。
- 2 土地・住宅購入費用の支出があったから。
- 3 耐久消費財（自動車、家具、家電等）購入費用の支出があったから。
- 4 こどもの教育費用・結婚費用の支出があったから。
- 5 旅行、レジャー費用の支出があったから。
- 6 株式、債券価格の低下によりこれらの評価額が減少したから。
- 7 その他

問9 お宅では、どのような目的で貯蓄をしていますか。次のうちから3つ以内で選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 1 病気や不時の災害のときに備えるため。
- 2 こどもの教育資金にあてるため。
- 3 こどもの結婚資金にあてるため。
- 4 住宅（土地を含む）の取得または増改築などの資金にあてるため。
- 5 老後の生活資金にあてるため。
- 6 耐久消費財（自動車、家具、家電等）の購入資金にあてるため。
- 7 旅行、レジャーの資金にあてるため。
- 8 納税資金にあてるため。
- 9 とくに目的はないが、貯蓄していれば安心なため。
- 10 その他

問10 お宅では、現在どのくらいの貯蓄残高を目標にし、その達成時期を何年後と考えていますか。それぞれ下表に数値をご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
貯蓄目標残高					
貯蓄目標達成予定時期					年後

問11 お宅の家計の小口MMCの預入状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 小口MMCに預入している。 → [続けて問12にお答えください。]
- 2 小口MMCに預入していない。 → [問13にお進みください。]

問12 小口MMCに現在預入しているお宅にお尋ねします。

お宅の平成4年3月末時点および現在の小口MMC残高をそれぞれ下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
小口MMC残高	平成4年3月末				
	現在				

問13 お宅の家計の自由金利定期預貯金の預入状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 自由金利定期預貯金に預入している。 → [続けて問14にお答えください。]
- 2 自由金利定期預貯金に預入していない。 → [続けて問15にお答えください。]

問14 自由金利定期預貯金に現在預入しているお宅にお尋ねします。

お宅では、④どのような理由から自由金利定期預貯金に預入しましたか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけ、併せて、⑩自由金利定期預貯金の残高（平成3年10月末時点および現在）もご記入ください。

- 1 他の金融商品に比べ収益性が高いから。
 - 2 金融機関との交渉によっては店頭表示金利を上回る利率が適用されることもあるから。
 - 3 自らの金利の見通しに応じた弾力的な資金運用ができるから。
 - 4 預入期間が1か月以上3年以下と選択の幅が広いから。
 - 5 最低預入金額の制限が昨年11月に300万円に引下げられ、これまでより身近な貯蓄対象となったから。
 - 6 元本が保証されているから。
 - 7 金融機関に勧められたから。
 - 8 その他
- 億 千万 百万 十万 万円

⑩ 自由金利定期預貯金残高 平成3年10月末 現在

問15 自由金利定期預貯金に現在預入していないお宅にお尋ねします。

お宅では、どのような理由から自由金利定期預貯金に預入しないのでしょうか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 最低預入金額が300万円では大きすぎるから。
- 2 他により収益性が高いとみられる金融商品があるから。
- 3 市場金利の先行きを見通して資金を運用するのがわずらわしいから。
- 4 預入期間が1か月以上3年以下では選択の幅が狭いから。
- 5 自由金利定期預貯金の商品内容がよくわからないから。
- 6 その他

問16 このほど新たに導入された「貯蓄預貯金^(注)」についてお宅の家計の預入状況をお尋ねします。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 貯蓄預貯金に預入している。 → [続けて問17の②、⑤にお答えください。]
- 2 貯蓄預貯金に近く預入するつもりである。 → [続けて問17の④のみお答えください。]
- 3 貯蓄預貯金に当面預入するつもりはない。 → [問18にお進みください。]

(注) 貯蓄預貯金とは、流動性預貯金金利の自由化の第一弾として本年6月に導入された官民共通の金融商品です。この貯蓄預貯金には40万円型（無料払戻し回数が月間5回以内）と20万円型（無料払戻し回数に制限がない）の2種類があり、どちらのタイプも給与の自動振り込み、公共料金の自動振り替えなどのサービスは利用できません。

預貯金金利の自由化は、これまで大口定期や小口MMCなど定期性預貯金を中心に進展してきましたが、この貯蓄預貯金の登場により預貯金金利

の自由化がさらに一歩進んだこととなります。

問17 「貯蓄預貯金」に現在預入している、あるいは近く預入する予定のあるお宅にお尋ねします。

お宅では、④どのような理由から貯蓄預貯金に預入しましたか、あるいは預入するおつもりですか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけ、併せて、⑬貯蓄預貯金の残高も40万円型、20万円型別にご記入ください。

- 1 普通預金、通常貯金に比べ収益性が高いから。
- 2 他の市場金利連動型預貯金よりも引出しが簡単だから。
- ④ 3 元本が保証されているから。
- 4 金融機関に勧められたから。
- 5 その他

⑬ 貯蓄預貯金残高 40万円型 20万円型

問18 お宅では、主取引金融機関を決める場合に、どのような理由から選びますか。次のうちから3つ以内で選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 1 近所に店舗やATM（現金自動預け払い機）があり便利だから。
- 2 店舗網が全国的に展開されているから。
- 3 金融商品の品揃えが豊富で選択の幅が広いから。
- 4 より収益性の高い金融商品を販売しているから。
- 5 金融アドバイザーとしての相談窓口が充実しているから。
- 6 経営が健全で信用できるから。
- 7 勧誘員が熱心で印象がよいから。
- 8 テレビCM、ポスター、キャラクター商品などの印象がよいから。
- 9 その他

問19 お宅では、金融機関のサービスについて、現在不満に思っていたり、今後改善してほしいと期待しているものがありますか。次のうちから該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 新しい金融商品やサービスの内容を、もっとわかりやすく説明してほしい。
- 2 総合的な資金管理についてきめ細かいアドバイスがほしい。
- 3 機械化の進展に伴いおろそかになってきている顧客とのコミュニケーションをもっと図ってほしい。
- 4 機械に弱い高齢者等が気軽に相談できる専門の相談窓口を設置してほしい。
- 5 ホームバンキングやホームトレードに関するサービスを充実してほしい。
- 6 平日の窓口の営業終了時刻を延長してほしい（例えば現行の3時を5時に変更するなど）。
- 7 土・日・祭日も平日と同様に窓口の営業をしてほしい。
- 8 土・日・祭日にATM（現金自動預け払い機）の機能をフル稼働させるとともに、稼働時間帯も拡大してほしい。
- 9 低利の個人ローン（教育ローン等）を拡充してほしい。
- 10 融資にあたっては、担保物件が乏しくても、人物やプロジェクトの質を見極めながら、弾力的に対

- 応してほしい。
- 11 景品（ティッシュペーパー、ラップ等）にコストをかけるよりも預金金利や貸出金利の面でレートの優遇サービスをしてほしい。
 - 12 金融機関の業務に限らず金融や税金など暮らしに密着した情報を幅広く提供してほしい。
 - 13 金融機関の経営内容（営業状況、財務内容、収益構造等）をわかり易く開示してほしい。

問20 お宅では、金融自由化の進展について現在どのよう
にお考えですか。次のうちから2つ以内で選び、該当
する番号に○印をつけてください。

- 1 金融自由化の進展に伴い、金融資産の選択の幅が
広がり、個人にとってメリットが大きい。
- 2 個人の金融経済情報の収集能力には限界があるた
め、金融自由化の進展に伴いかえってリスクが増
すことになり、個人にとってはあまりメリットは
ない。
- 3 金融自由化の進展に伴い、金融機関、企業、個人
はそれぞれ競争原理のもと自己責任において行動
でき、公正な市場が形成されるので、歓迎している。
- 4 金融自由化の進展に伴い、金融機関の体力によっ
ては合併や破綻が今後増えていくことが予想さ
れ、不安である。
- 5 金融自由化の進展に伴い、制度の変更や様々な金
融商品、サービスが出現しているが、自由化のプロ
セスや仕組みなどがよくわからず、やや戸惑っ
ている。

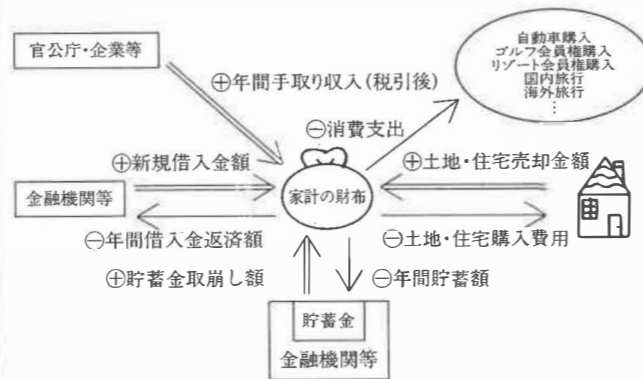
問21 お宅の家計（家族全体）の過去1年間の収入・支出
それぞれについて、下表の該当する欄に次頁の記入例
を参考にしながら金額をご記入ください。なお、年間
手取り収入（税引後）については、さらにその前年の
金額もご記入ください。

		億 千万 百万 十万 万円				
収入 ⊕	年間手取り収入(税引後) ②					
	貯蓄金取崩し額 ⑬					
	新規借入金額 ③					
	土地・住宅売却金額 ④					
支出 ⊖	年間貯蓄額 ⑥					
	年間借入金返済額 ①					
	うち住宅ローン返済額					
	土地・住宅購入費用 ⑤					
	消費支出(②+⑬+③+④-⑥-①-⑧)					
	うち自動車購入費用					
	ゴルフ・リゾート会員権購入費用					
	国内旅行					
	海外旅行					
	参考	②の前年の年間手取り 収入(税引後)				

(記入例)
例えば、年間手取り収入(税引後)500万円(前年475万円)、
年間貯蓄額100万円、年間借入金返済額20万円(家電製品購入
分)の家計(ただし、土地・住宅は未取得)が200万円の自動
車を購入(頭金50万円は貯蓄を取崩して充当、残り150万円に
ついては借入金で対応)し、国内旅行(15万円)をした場合
には、「収入・支出表」に次のようにご記入ください。

		億 千万 百万 十万 万円				
収入 ⊕	年間手取り収入(税引後) ②			5	0	0
	貯蓄金取崩し額 ⑬			5	0	
	新規借入金額 ③			1	5	0
	土地・住宅売却金額 ④					0
支出 ⊖	年間貯蓄額 ⑥			1	0	0
	年間借入金返済額 ①			2	0	
	うち住宅ローン返済額					0
	土地・住宅購入費用 ⑤					0
	消費支出(②+⑬+③+④-⑥-①-⑧)			5	8	0
	うち自動車購入費用			2	0	0
	ゴルフ・リゾート会員権購入費用					0
	国内旅行			1	5	
	海外旅行					0
	参考	②の前年の年間手取り 収入(税引後)			4	7

(図解)



問22 お宅では、過去1年間の消費支出をその前年と比べて
増やしましたか、あるいは減らしましたか。次のうち
該当する番号に○印をつけてください。

- 1 消費支出を増やした。
→ 続けて問23にお答えください。
- 2 消費支出を変えていない。
→ 問25にお進みください。
- 3 消費支出を減らした。
→ 続けて問24にお答えください。

問23 問22で、「1 消費支出を増やした」に○印をつけたお宅
では、どのような項目の消費支出を増やしましたか。次
に挙げる項目から3つ以内で選び、該当する番号に○
印をつけてください。

- 1 食料費
- 2 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅
購入費は除く)
- 3 被服費(身の回り品を含む)
- 4 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 5 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 6 教育費
- 7 保健・医療費(美容関係を含む)
- 8 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問24 問22で、「3 消費支出を減らした」に○印をつけたお宅
では、どのような項目の消費支出を減らしましたか。次
に挙げる項目から3つ以内で選び、該当する番号に○
印をつけてください。

- 1 食料費
- 2 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅
購入費は除く)
- 3 被服費(身の回り品を含む)
- 4 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 5 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 6 教育費
- 7 保健・医療費(美容関係を含む)
- 8 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問25 お宅では、今後1年間の消費支出を過去1年間のそれ
と比べて増やしますか、あるいは減らしますか。次の
うち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 消費支出を増やす。
→ 続けて問26にお答えください。
- 2 消費支出を変えない。
→ 問28にお進みください。
- 3 消費支出を減らす。
→ 続けて問27にお答えください。

問26 問25で、「1 消費支出を増やす」に○印をつけたお宅で
は、どのような項目の消費支出を増やしますか。次に
挙げる項目から3つ以内で選び、該当する番号に○印
をつけてください。

- 1 食料費
- 2 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅
購入費は除く)
- 3 被服費(身の回り品を含む)
- 4 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 5 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 6 教育費
- 7 保健・医療費(美容関係を含む)
- 8 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問27 問25で、「3 消費支出を減らす」に○印をつけたお宅で
は、どのような項目の消費支出を減らしますか。次に
挙げる項目から3つ以内で選び、該当する番号に○印
をつけてください。

- 1 食料費
- 2 住居費(家賃、光熱・水道費を含め、土地・住宅
購入費は除く)
- 3 被服費(身の回り品を含む)
- 4 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
- 5 交通・通信費(自動車購入費は除く)
- 6 教育費
- 7 保健・医療費(美容関係を含む)
- 8 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問28 お宅では、②過去1年間の消費支出の中で何を重視し
ましたか。また、⑬今後1年間は何を重視していき
たいとお考えですか。次のうちから3つ選び、それぞ
れ下表の該当する番号に○印をつけてください。

- 1 健康・美容の維持(スポーツ、人間ドック、フィット
ネスセンター、エステティックなど)
- 2 教養・文化生活の充実(美術展、コンサート、演
劇、映画、ビデオ、カルチャーセンターなど)
- 3 国内旅行(ドライブも含む)
- 4 海外旅行
- 5 高級アクセサリ等身の回り品の購入
- 6 グルメ
- 7 こどもの教育の充実(塾、家庭教師など)
- 8 居住環境の改善(住宅リフォームなど)
- 9 自動車、家電製品等耐久消費財の購入
- 10 ゴルフ・リゾート会員権の購入

②過去1年間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑬今後1年間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問29 お宅の家計の現在の借入れ状況(月賦の未払金を対象
に含め、1~2か月後に決済するクレジットカード利
用・ツケ買いによる未払金は除く)について、次のう
ち該当する番号に○印をつけてください。

- 1 借入金がある。→ 続けて問30、問31に
お答えください。
- 2 借入金がない。→ 問32にお進みください。

問30 現在借入金があるお宅にお尋ねしますが、現在の借入金残高と借入先別内訳をそれぞれ下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 公的住宅専門金融機関<注1>					
その他金融機関<注2>					
販売会社、クレジット会社等					
貸金業者(サラ金、質屋)					
勤務先					
親類、知人					
その他					

<注1> 住宅金融公庫、年金住宅福祉協会等。
<注2> 銀行、信金、信組、労金、農・漁協、郵便局、保険会社、住宅金融専門会社等。

また、現在の借入金残高合計のうち、住宅ローン残高およびフリーローン^(注)残高をそれぞれ下表にご記入ください。

(注) フリーローンとは、借入金の用途が特定されていないローン(カードローンを含む)。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 住宅ローン残高					
フリーローン残高					

(上記の合計の金額と一致)

問31 現在借入金があるお宅にお尋ねしますが、お宅では、どのような目的で借入れを行いましたか。次のうちから3つ以内で選び、該当する番号に○印をつけてください。また、そのうちフリーローンによるものについては◎印をつけてください。

- 医療費や災害復旧資金にあてるため。
- こどもの教育資金にあてるため。
- こどもの結婚資金にあてるため。
- 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金にあてるため。
- 日常生活資金にあてるため。
- 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金にあてるため。
- 旅行、レジャーの資金にあてるため。
- 株式等金融資産への投資資金にあてるため。
- 土地・建物(マイホームは除く)等の実物資産への投資資金にあてるため。
- 相続税対策の資金にあてるため。
- その他

問32 お宅の家計のクレジットカードの利用状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- クレジットカードを利用している。
→ 続けて問33、問34にお答えください。
- クレジットカードを利用していない。
→ 問35にお進みください。

問33 クレジットカードを利用しているお宅にお尋ねします。

お宅では、現在クレジットカードを何枚保有していますか。また、この1年間のクレジットカードの利用回数、利用金額はどのくらいですか。それぞれについて下表に数値をご記入ください。

- 現在の保有枚数

百	十	一
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

 枚
- 1年間の利用回数

百	十	一
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

 回
- 1年間の利用金額

千万	百万	十万	万	千円
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問34 クレジットカードを利用しているお宅にお尋ねします。

お宅では、④クレジットカードをどの程度利用しているかについて、該当する番号に○印をつけてください。また、⑤それはどのような理由からですか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 積極的に利用している
 - 欲しいものがすぐに手に入るから。
 - 持ち歩く現金を少なくすることができるから。
 - 支払いを後にずらすことにより手持ち資金を有効に活用できるから。
 - 短期的な資金を借入れるのに便利だから。
 - その他
- 積極的に利用していない。
 - 衝動買いをしたくないから。
 - 決済期日や口座残高の管理がわずらわしいから。
 - カードの紛失等の危険があるから。
 - その他

問35 お宅の家計のプリペイドカード(テレホンカード、オレンジカード等)の利用状況について、次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- プリペイドカードを利用している。
→ 続けて問36にお答えください。
- プリペイドカードを利用していない。
→ 問37にお進みください。

問36 プリペイドカードを利用しているお宅にお尋ねします。

お宅では、この1年間に購入したプリペイドカードの枚数および金額はどのくらいですか。また、そのうち実際に使用した金額はどのくらいですか。それぞれについて下表に数値をご記入ください。

- 1年間の購入枚数

百	十	一
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

 枚
- 1年間の購入金額

十万	万	千円
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
- 1年間の使用金額

十万	万	千円
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問37 お宅では、買物代金、旅行代金、公共料金等の資金決済手段としてどのようなものを利用していますか。次のうちから主なものを2つ以内で選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 現金
- クレジットカード
- プリペイドカード
- 口座振替
- その他

問38 お宅では、買物代金、旅行代金、公共料金等の資金決済手段として全体の何割程度を現金で決済していますか。また、お宅の家計の月平均の手持ち現金(銀行券および硬貨)残高はどのくらいですか。それぞれについて下表に数値をご記入ください。

- 現金決済の割合 割
- 月平均手持ち現金残高

百万	十万	万	千	百円
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問39 お宅では、生活感覚として“経済的な豊かさ”を実感されていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- どちらかと言えば、経済的な豊かさを実感している。
→ 続けて④にお答えください。
- どちらかと言えば、経済的な豊かさを実感していない。
→ 続けて⑤にお答えください。

④上記1を選択されたお宅では、“経済的な豊かさ”をどのようなことで実感されましたか。
⑤上記2を選択されたお宅では、“経済的豊かさ”をどのようなことで実感されると思われますか。

それぞれのうちから3つ以内で選び、下表の該当する番号に○印をつけてください。

- マイホームの取得
- マイホーム以外の実物資産(土地、建物、別荘等)の取得
- ある程度の額の美術品、貴金属の保有
- ある程度の額の金融資産の保有
- ある程度の額の年収の実現
- 高級耐久消費財(自動車、家具、家電等)の保有
- ゴルフ会員権の保有
- スポーツ・レジャー関連消費の充実
- ある程度自由に使える時間の実現
- 教育の充実(高学歴、専門知識の獲得等)

11 その他

④経済的な豊かさを実感しているお宅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤経済的な豊かさを実感していないお宅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問40 お宅では、暮らし向きに関する以下の4組の対照的な意見A、Bについて、どちらの意見に近いと判断されますか。それぞれについて下表の該当する欄に○印をつけてください。

- A: 過去1年間をみると、物価の上昇が家計を圧迫してきている。
B: 過去1年間をみると、物価の上昇は家計をさほど圧迫していない。
- A: 今後1年間を展望すると、物価が上昇して家計を圧迫すると思われる。
B: 今後1年間を展望すると、物価が上昇して家計を圧迫することはないと思われる。
- A: 現在の暮らし向き全般については、1年前に比べて良くなっている。
B: 現在の暮らし向き全般については、1年前に比べて悪くなっている。
- A: 先行き1年後の暮らし向き全般については、現在よりも良くなっていると思われる。
B: 先行き1年後の暮らし向き全般については、現在よりも悪くなっていると思われる。

	Aに近い	Bに近い	どちらとも 言えない
1の意見			
2の意見			
3の意見			
4の意見			

問41 お宅では、最近の消費生活や消費スタイルについて、どのようにお感じになっていますか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- 所得はそこそこ伸びているが、ローンの返済額が大きく、以前に比べて消費支出に充当できる金額が減ってきている。
- 所得が順調に伸びているので、これまでどおり消費重視の姿勢に変りはない。
- 消費の高級化傾向のもと、以前は背伸びをして高額商品を購入したこともあったが、バブル経済の崩壊を目のあたりにして、最近身丈に合った消費を心掛けている。
- 特にこれといった物を購入している訳ではないが、必需的でないサービス消費支出(外食、スポーツ、レジャー等)が知らず知らずのうちにかさんでいるようだ。
- 自動車、家電、家具などの耐久消費財については、ひととおり購入しており、新たに購入する意欲はとりあえず後退している。
- 自動車、家電などの耐久消費財については、付加価値をつけた新製品が次々と発売されるため、今後も購入(買い替えを含む)していくつもりであ

- る。
- 単なる節約ではなく、价格的に割安感のあるものを追求することにより、これまでの質的な生活水準を落とさずに無駄な出費を抑えている。
 - 節約に努めようとしているものの、収支を縮めてみると、やはり無駄づかいをしていることが多いようだ。

問42 生活意識に関する以下の対照的な考え方A、Bについて、お宅では、どちらの考え方に近いと判断されますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。
A：将来のことを考えて計画的に貯蓄し、生活していくべきである。

- B：将来のことをあれこれ心配するよりも、現在の生活を楽しく過ごすべきである。
- Aに近い考え方である。
 - Bに近い考え方である。
 - どちらとも言えない。

問43 お宅では、②将来のことを考えて生活設計を立てていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。また、⑤生活設計を立てているお宅では、何年くらい先まで生活設計を立てていますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 生活設計を立てている。
→ 続けて⑥にお答えください。
- ② 現在生活設計を立てていないが、今後は立てるつもりである。
- ③ 現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない。
→ 問44にお進みください。

- 1～2年先まで
- 3～5年先まで
- ⑤ 10年先まで
- 20年先まで
- 20年以上先まで

問44 お宅では、家計簿をおつけになっていますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- つけている。
- ときどきつけている。
- つけていない。

問45 お宅では、現在どのような住居にお住まいですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- ご自身が購入した家屋・マンション
- 相続または贈与を受けた持家
→ 問49にお進みください。

- 同居している親または親族の家
- 民間の賃貸マンション・アパート、借家
- 公団・公営の賃貸アパート
- 官舎、社宅
- 間借、その他
→ 続けて問46、問47、問48にお答えください。

問46 マイホームを取得していないお宅にお尋ねします。お宅では、世帯主の方が何歳くらいの時にマイホームを取得する予定ですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代

- 60歳以上
- 親からの相続等によるので、いつになるかわからない。
- マイホームの取得については目下のところ考えていない。

問47 マイホームを取得していないお宅にお尋ねします。このところ土地・住宅価格が低下しつつあるとはいえ、なお高水準で推移していますが、お宅では、マイホームの取得についてどのようにお考えですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 当初のマイホーム購入予定額を越えた分については、住宅ローンの借入額を増やしたり、生活費を切り詰めて対応する。
- 当初のマイホーム購入予定額は変えずに、計画比手狭な物件にする。
- 当初のマイホーム購入予定額は変えずに、割安な地域の物件にする。
- マイホームの取得時期を繰り延べ、今後の土地・住宅価格や金利の動向をみて決める。
- マイホームの取得を諦めた。

問48 近くマイホームを取得する予定があるお宅にお尋ねします。お宅がマイホームを取得するのに必要な資金の総額はどのくらいですか。また、その資金をどのように調達する予定ですか。それぞれについて下表に金額をご記入ください。なお、買い換えの場合は、新・旧物件の価格差ではなく、新規取得物件の方の総額をご記入ください。

	億	千	万	百	十	万	円
必要資金総額							
うち 自己資金							
借入金							

問49 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。お宅では、老後の暮らしについて、経済面でどのようにお考えですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- まったく心配していない。
- それほど心配していない。
→ 続けて問50にお答えください。
- 多少心配である。
- 非常に心配である。
→ 続けて問51にお答えください。

問50 問49で、「1 まったく心配していない」、「2それほど心配していない」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号に○印をつけてください。

- 十分な貯蓄があるから。
- 退職一時金があるから。
- 年金（公的年金、企業年金、個人年金）や保険があるから。
- 生活の見通しが立たないほど物価が上昇するとは考えられないから。
- 再就職により収入が得られる見込みがあるから。
- 不動産収入（家賃、地代等）が見込めるから。

- 子どもなどからの援助が期待できるから。
- 親などからの遺産が見込まれるから。
- その他

問51 問49で「3 多少心配である」、「4 非常に心配である」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。該当する番号に○印をつけてください。

- 十分な貯蓄がないから。
- 退職一時金が十分ではないから。
- 年金（公的年金、企業年金、個人年金）や保険が十分ではないから。
- 生活の見通しが立たないほど物価が上昇することがあり得ると考えられるから。
- 再就職により収入が得られる見込みがないから。
- 家賃の上昇により生活が苦しくなると見込まれるから。
- マイホームを取得できる見込みがないから。
- 子どもなどからの援助が期待できないから。
- その他

問52 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。お宅では、現在の暮らし向きについてどのようにお考えですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている。
- 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている。
- 家計にゆとりがなく、多少心配である。
- 家計が苦しく、非常に心配である。

問53 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。現在のお宅の生活費は、どのような収入源に拠っていますか。次のうちから3つ以内を選び、該当する番号に○印をつけてください。

- 就業による収入
- 公的年金
- 企業年金、個人年金、保険金
- 貯蓄の取崩し
- 利子・配当所得
- 不動産収入（家賃、地代等）
- 子どもなどからの援助
- 国や市町村などからの公的援助
- その他

問54 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。お宅では、老後を豊かに不安なく暮らしていくために必要なことは、どのようなことだと思いますか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 高齢者に対する雇用機会の確保
- 公的年金制度の拡充
- 物価（土地・住宅価格を含む）の安定
- 老人医療制度（老人病院、定期健康診断等）の拡充
- 公的、私的老人介護施設やサービス（老人ホーム、ホームヘルパー等）の拡充
- 身体が不自由な人のための各種設備（車いす用通路、非常用通報システム等）の整備
- 老後に備えた貯蓄の優遇措置の実施
- 地域住民のふれあいや交流の場の確保

9 その他
問55 お宅では、お子さんに渡しているこづかいは、月平均で1人当たりどのくらいの金額ですか。学齢区分ごとに下表に金額をご記入ください。

	万	千	百	十	円
小学生(1・2年)					
小学生(3・4年)					
小学生(5・6年)					
中学生					
高校生					

問56 お宅の世帯員としてのご家族は自分も含めて何人ですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- 7人以上

問57 お宅の世帯主の方は満年齢で何歳ですか。次のうち該当する番号に○印をつけてください。

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60～64歳
- 65～69歳
- 70歳以上

問58 お宅の世帯主の方のご職業は次のうちどれに当たりますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 農・林・漁業者
- 自営商・工・サービス業主
- 事務系職員
- 労務系職員
- 管理職
- 自由業
- その他

問59 お宅のご家族の就業状況は次のうちどれに当たりますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 世帯主およびその家族ともに働いていない。
- 世帯主のみが働いている。
- 世帯主とその配偶者が働いている。
- その他